

香川県次世代育成支援行動計画（2010-2014）数値目標の進捗状況

施策名	2. 子育て家庭にやさしい生活環境の整備	
施策を推進するための小項目施策	(1)子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり	(4)子どもを取り巻く有害環境対策の推進
	(2)ゆとりとるおいのある生活環境の整備	
	(3)子どもの安全を確保するための活動の推進	

これまでの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの安全な遊び場を確保するとともに、快適な生活環境の創造に向けて、街区公園、近隣公園などの身近な都市公園等の整備を図った。 ○ ため池の景観保全施設、親水護岸等の整備を行い、うるおいとやすらぎのある水辺空間を創出した。 ○ 子どもの交通安全対策のため自転車歩行者道、交通安全施設の整備を行った。また、市街地における歩道のバリアフリー化等を実施した。 ○ 県民の自主防犯意識の高揚と自主防犯活動の促進を図るための情報提供やボランティア活動の支援施策を実施するとともに、防犯カメラ付き緊急警報装置を設置して防犯環境を整備するなど、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりを推進した。 ○ 子育て家庭にやさしいまちづくりを推進するため、おむつ替え設備やこども用トイレを備える施設を認定し、広く情報提供を行った。
-----------	---

<数値目標の達成状況>

施策の進捗度 (平成22年度～平成26年度)		平均進捗度 (3.50) A 【A評価：5 B評価：2 C評価：1 D評価：0 評価不能：2】								
No	担当部局	目標項目	計画策定時(21年度)		25年度実績値		26年度目標数値		評価	前年度評価(H24)
1	土木部	子育て世帯の誘導居住面積水準達成率	51%	20年度	-		60%	27年度	-	-
2	土木部	歩車道の分離	721.9km	20年度末	748.2km	24年度末	785km	27年度	B	B
3	警察本部	あんしん歩行エリア内の死傷事故数(年km ² あたりの件数)	-		-		指定エリア内の歩行者・自転車事故件数を減少	24年度末	-	-
4	土木部	都市公園(住区基幹公園)整備数	257か所		265か所		266か所		A	A
5	土木部	(高水敷整備面積)	56.76ha		57.61ha		57.60ha		A	A
		(低水護岸整備延長)	13,688m		15,158m		14,940m		A	A
6	農政水産部	ため池・水路を活用した水辺空間創出地区数	84地区		85地区		86地区		B	B
7	土木部	国営讃岐まんのう公園の整備(供用面積)	158.0ha		350.0ha		350ha	24年度	A	C
8	警察本部	チャイルドシート使用率の全国順位	全国ベスト34位		全国ベスト26位	H25.4	全国ベスト1位		C	C
9	健康福祉部	子育てバリアフリー化施設のか所数	392か所	22年度末	448か所		100か所		A	A

施策名(中項目)	子育て家庭にやさしい生活環境の整備		
県政世論調査の結果	平成24年度県政世論調査	最も重要だと思う施策	充実度に不満がある施策
	バリアフリー化など、子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり	5.1%(12位)	8.5%(11位)
	子どもを取り巻く有害な社会環境を浄化する対策の推進	15.3%(9位)	16.1%(7位)
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施策の平均進捗度はBとなっている。 ○ ハード整備が中心の施策であり、財政状況の影響が大きい、個別指標においても計画的に進捗が図られている。 ○ チャイルドシート使用率の全国順位が改善されていない。 		
今後の施策展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て世帯が暮らしやすい優良な民間住宅である長期優良住宅の普及の促進を図るとともに、県営住宅長寿命化計画に基づく既存ストックの改善に努め、市場では適切な規模の住宅確保が困難な世帯への供給を図る。 ○ 地域において、子育て家庭がゆとりとうるおいのある住生活を送ることのできる環境が求められており、水や緑のあるうるおいある空間の整備などの施策を推進していく。 ○ 道路交通環境や公共施設など生活環境において広く子育てバリアフリーを推進するなど、子どもや子育て家庭にやさしい安心・安全なまちづくりを進める必要があり、バリアフリー化など安全でゆとりある道路交通環境の整備などに努める。 ○ 県民や事業者などによる自主的な活動の推進、犯罪の防止に配慮した環境の整備等、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりを引き続き推進していく。 		